

報 告

「2019年度 創価大学法科大学院
第1回教員研究報告会」

2020.1.10

FD 委員長 花房博文

本研究会は、教員相互の研究活動の活性化と共有を図る趣旨で開催致します。

報告担当の先生方は、現在、取り組んでいらっしゃる研究内容について、
1) 問題点の所在, 2) 実務や学説等の状況, 3) 考察・提言, 4) 進捗状況・発表予定等について、研究の概要やご紹介をお願い致します。なお、時間の制約から、議論が白熱して本日中に全報告者が報告できない場合には、別途、第2回研究報告会を開催して研究会を継続したいと考えております。

恐縮ですが、本年度は各報告時間15分+質疑応答10~20分以内を想定したご報告をお願い致します。また、当日のレジュメは、各先生におかれましてご準備をお願い申し上げます。

第1回

1月10日(金)午後18:00~20:00(研究科委員会終了後開始)

於：第一合議室

1 「相関関係説からみた名誉毀損・プライバシー侵害の違法性判断」

(本誌145頁以下)

土平 英俊 准教授

2 「強制処分と任意処分の区別

—最高裁昭和51年3月16日第三小法廷決定に対する批判的考察—」

(本誌49頁以下)

岡本 梢 専任講師

3 「『業務としての自殺援助』という新たな構成要件に関する一考察」

(配布レジュメを本誌163頁以下)

佐瀬 恵子 准教授

4 「契約における履行不能リスクの分配

—アメリカ契約法の Impracticability と Frustration の法理を参考として— (2)」

(本誌1頁以下)

田村 伸子 教授

5 「マンション共用部分の瑕疵担保責任に関する訴訟追行の課題」

(マンション学66号に掲載)

花房 博文 教授

6 「1978年インディアン児童福祉法」研究 (その2)」 (本誌77頁以下)

藤田 尚則 教授

報告者の研究概要の報告を通じて、相互に他の研究者の研究領域に関心を広げ、研究活動面においても一層の連携を深めることができましたら幸いかと存じます。

それでは、学年末のご多忙なときとは存じますが、先生方のご都合の許す限り、奮ってご参加、ご議論、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。